

# ウォキングクラブ定例会【自然児童遊園「ねむの森」から雲興寺・つばきの森】

実施日 2024.04.18



あいにく一日中雲に覆われ、どんよりとした天気になりましたが、日差しが無いぶん暑さも無く紫外線を気にする美白のお姉さんには快適なウォーキング日和になりました。3日前の天気予報では晴れマークで大いに期待していましたが、残念ながら力作を追求する写真撮影の方には青空の縁は無く少しガッカリ感が残りました。

## ①名鉄瀬戸線大曾根から瀬戸駅で、名鉄バスに乗り換え終点赤津へ

名鉄大曾根駅 2F 改札口前に 8:25 に集合し、男性 4 名女性 9 名の 13 名が参加です。8:33 発瀬戸行きの電車が遅延して大曾根駅はホームをはじめ、電車は立錐の余地も無い程のラッシュアワーに遭遇しましたが、大森・金城学院駅で多くの女子大生が下車して漸く全員座る事ができました。瀬戸駅から赤津行きの名鉄バスのダイヤは、陶磁器の赤津の山里も自家用車利用が多く時間 1 本の間引き運転、交通弱者の悲哀と愚痴がです。ところで電車が遅延しバスの乗換時間も余裕無く慌ただしく 9:11 に乗車して、コミュニティーバスの様に新興住宅地の寄り道コースを周りながら終点赤津バス停留所に 9:34 に到着。バス停は見上げる程高い位置の東海環状自動車道の高架下に、回転スペースのある広いバス駐車場と職員宿舎がありました。

## ②自然児童遊園「ねむの森」から東海自然歩道の峠越えで雲興寺へ

新興住宅地に沿ってコンクリート舗装の狭い坂道をゆっくり登ります。フェンス越しに砂防ダムの越流堰からオーバーフローした放流水が布引の滝のように落下する様を眺めながら堰堤に至ります。自然児童遊園「ねむの森」の塗装が剥げ落ちたみすぼらしいコンクリート銘板標がありました。水の清らかな大きな砂防池の栈橋木道を辿れば、清らかな透明感のある池の水面(みなも)は鏡の様に反転して新緑の森と散りかけた山桜を映していました。青葉若葉の周囲の丘陵の山腹に眼をやれば明るい新芽が伸び「山笑う風景」に心身に気力がみなぎってきます。山桜が散り始め葉桜になる風景も中々興の趣があります。管理棟の前の大きなマップ絵看板でコースを確認し、東海自然歩道の岩屋堂と雲興寺・猿投山の位置を確かめます。管理人の方にボーイスカウトが毎年使用しているトーテムポールのキャンプ場の道の状態をお聞きしたところ、最近はあまり利用されていないので薄い藪漕ぎ状態であるとの事でしたので残念ながら急遽コース変更する事にしました。木馬と時計の芝生広場の木陰から園児とお母さんの家族グループの声が聞こえてきます。

## ③東海自然歩道の峠を越えて雲興寺へ

「ねむの森」を後にして東海自然歩道を辿り、雲興寺裏山尾根の急登の丸太階段を息を切らせながら登れば大杉の木立に囲まれた峠で小休止です。全員が無事峠に至り笑顔に戻ってホットしたところで雲興寺を目指して丸太階段の下りです。一部山道には巨大な石碑のある斜面崩壊地に遭遇、慎重に脚を運び転倒に注意しながら幅の狭い山道を辿り、全員無事に通過してヤレヤレ感で一安心です。通り終えた所から雲興寺本堂の赤津焼の黄土色の大屋根を俯瞰すれば、ウォーキング効果で心身が開放されて気分爽快です。





#### ④ 曹洞宗大龍山雲興寺境内を散策

早速、本堂の石段を登り引き戸を開けて、外陣の畳にどっしり胡坐。薄暗い須弥壇の金色の釈迦牟尼仏を対面しお詣りさせていただきました。この他両脇には文殊菩薩・普賢菩薩が鎮座し、右側には盗除護法性空威山神が祀られています。内陣の僧正の大きな座布団の天蓋から多くの金色の装飾と錦の幡で荘厳な空間がありました。本堂を出れば、皆さんは鐘楼の前に集まり、説明看板を観て国の有形登録文化財に理解されたのでしょうか。ここの鐘楼は通常良く見られる四本柱ではなく袴腰の羽目板が特徴の様です。この他、性空石・陶磁の塔・永代供養墓苑などを見学しました。小生はその間に小用で東司に寄り道です。

#### ⑤ 嵐山「つばきの森」を周回して特設テントでランチタイム。

山門を出て県道を横断してつばき園に至れば、入口には大きなテントが張られ、テーブル席が設けられています。管理ボランティアの方に確認したところ利用できるとの事。まだ11時前でランチタイムには少し早く腹を空かす為につばき園の散策です。天然記念物水性植物ヒツジグサの鯉の池に寄り道して西の展望道を辿り、既に散ったカタクリ畑を管理ボランティアの方から詳しく説明を受けました。

散策道の両側の椿を愛でウグイスの初音を聴きながら西尾根展望道を辿り中道合流地点に至りました。ここで陶塑造を見学してテントに至るグループと、東尾根展望道グループに別れ、小生は健脚コースを辿り等身大の青年陶塑像を鑑賞して尾根道を辿ります。細いロープ柵の尾根道は何の不安も無く進行したところ思わぬ急坂の藪道に誘導されていささかあせりました。スリップ転倒に注意しながら慎重に脚を運び朽ちかけた丸太橋を渡れば東海自然歩道に合流です。

大型つばき園テントに全員集合してランチタイムになりました。

思い思いの弁当は和気あいあいの話も弾み美味しい食事はウォーキングクラブ定例会の楽しみです。

#### ⑥ 山里集落の生活道路を辿って赤津バス停へ

雲興寺山門前の駐車場を横切り山裾の生活道路を辿ります。細い羊腸の道のアス道・砂利道・芝生道を辿ればやがて県道の横断歩道を渡り、小川に沿って下流に向かえば東海環状自動車道の高架橋の下を潜り抜けて今朝のスタート地点の赤津バス停にゴールしました。

老朽化したバス停留所の待合室を背に笑顔の全員の記念撮影しました。12:52 発瀬戸駅に乗車して一里塚・にじの学園を經由して尾張瀬戸駅バスターミナルで降車し、駅前ロータリーで自由解散です。

寄り道せずに本願寺町の我が家には14時半過ぎに帰宅できました。ところでスマホの歩数計で確認したところ、総歩数11,000歩、歩行時間1:50、歩行距離7.6kmでした。

